R2：2017-10-15　吉川

ＨＰ委員会資料

**画像への文字入れ**

**１．使用ソフト**

次のようなソフトが、一般的に使用されていると思われる。

①Photoshop Elements

文字の影付とか細かい装飾ができ、PSDファイルで保存しておいて、文字の修正等が

できるが、文字入れだけに使用するには重すぎるソフト。

②JＴrim

フリーの画像処理ソフトで定評がある冨松さん推奨ソフト。

トリミング、サイズ変更、色調調整、文字入等、基本的画像処理はすべて可能。

Web用には十分。プルダウンメニューがなく、ツールバーも分りやすい。

③Paint

Windows付属ソフトで、最も軽く、トリミング、サイズ変更、色調調整、文字入等可能。

文字の影付等の装飾はNG。文字位置の設定等もWindows7では操作性が改善された。

④WebArt Designer

HPB付属の画像処理ソフトで、各種装飾文字の設定が簡単。

**２．画像へ入れる文字サイズ**

３００×２２５程度の画像で、１０～１２ポイントが読み易い。（下例は１２ポイント）



拡大画像に入れる場合は、画像サイズに比例して大きくする。

①３００×２２５(Web画像) １２ポイント

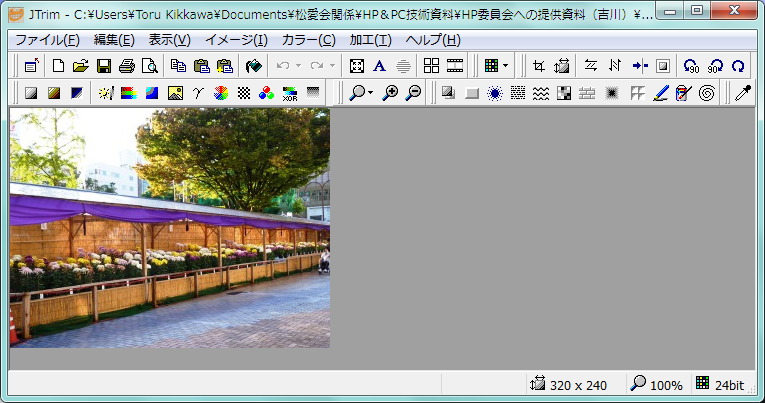
②６００×４５０(拡大画像)　２４ポイント

③８００×６００　 ３６ポイント

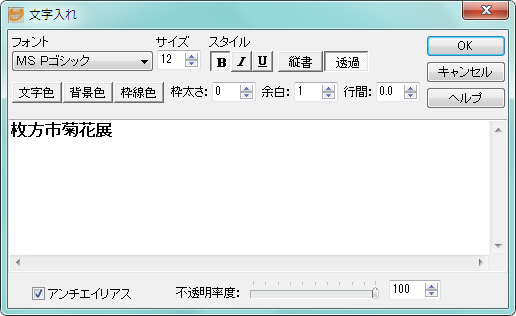
④１２００×９００(プロジェクタによるスライドショー)　４８ポイント

**３．JTrim　(フリーの画像処理ソフト)**

３－１　JTrimの初期画面に対象画像を取り込み、ツールバーの「Ａ」をリック



３－２　文字入れ画面が出るので、所定文字を入力する。



３－３　フォントの種類（下例の画像サイズは320×240P）

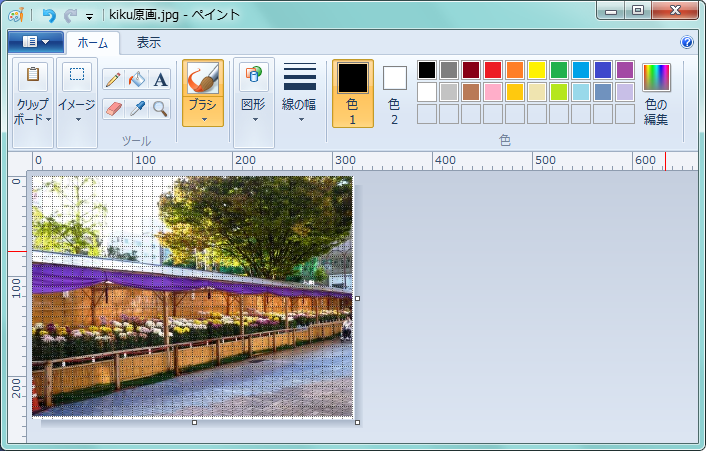




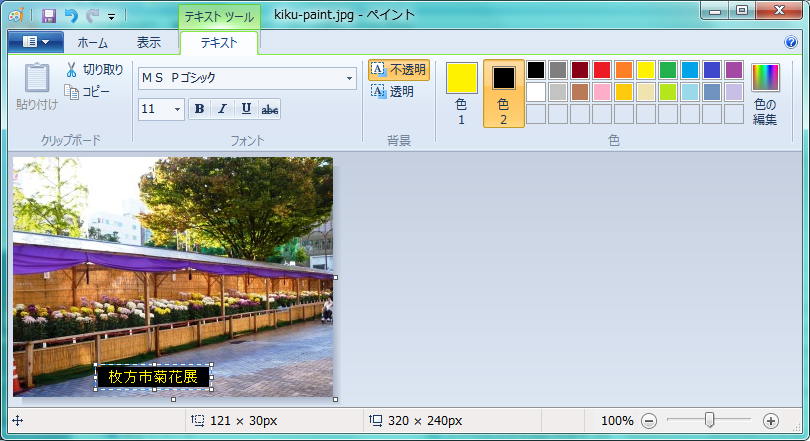
**４．Paint　（Windows７ 付属の画像処理ソフト）**

４－１　Paintの初期画面に対象画像を取り込み、ツールバーの「Ａ」をリック

（XP付属のPaintは、背景色の追加はできず、操作性もやや悪い）



４－２　文字入れ画面が出るので、所定文字を入力する。

****

****

**５．WebArt Designer （HPB付属の画像処理ソフト）**

ここでは「縁取り文字」を作成する例について述べる。

「Ａ」をクリックし文字種の設定を行う

